

# 104-248

## 問題文

77歳女性。下記の眼科の処方箋を薬局で応需した。持参したお薬手帳には、他院で処方され現在服用中の内容が記載されていた。さらに患者にどんな病気で薬を服用しているのかインタビューをしたところ、処方医への問合せが必要になった。

(処方)

ラタノプロスト点眼液 0.005% (2.5 mL/本)	1 本
	1 回 1 滴    1 日 1 回    就寝前    両眼点眼
ドルゾラミド点眼液 0.5% (5 mL/本)	1 本
	1 回 1 滴    1 日 3 回    朝昼夕    両眼点眼
チモロール点眼液 0.25% (5 mL/本)	1 本
	1 回 1 滴    1 日 2 回    朝夕    両眼点眼

(お薬手帳記載内容)

ランソプラゾール口腔内崩壊錠 15 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
	1 日 1 回    朝食後    28 日分
酸化マグネシウム細粒 83%	1 回 0.8 g (1 日 2.4 g)
	1 日 3 回    毎食後    28 日分
アトルバスタチン錠 10 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
	1 日 1 回    朝食後    28 日分
ワルファリン K 錠 1 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
	1 日 1 回    朝食後    28 日分
ベクロメタゾンプロピオン酸エステル 100 µg 吸入用エアゾール	100 吸入 1 本
	1 回 1 吸入    1 日 2 回朝夕    吸入

## 問248

患者へのインタビュー及びお薬手帳に記載されている薬剤から判明した患者の既往症に対して今回処方された薬剤が禁忌となるため、今回処方した眼科医へ問合せが必要となった。このような判断に至ったお薬手帳記載の薬剤はどれか。1つ選べ。

- 1. ランソプラゾール口腔内崩壊錠15mg
- 2. 酸化マグネシウム細粒83%
- 3. アトルバスタチン錠10mg
- 4. ワルファリンK錠1mg
- 5. ベクロメタゾンプロピオン酸エステル100µg吸入用エアゾール

## 問249

前問で問合せをする根拠に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1. プロスタノイド受容体遮断作用によって胃潰瘍を悪化させる。
- 2. 浸透圧利尿作用によって血圧を低下させる。
- 3. Rhoキナーゼ阻害作用によって脳血栓症の悪化を引き起こす。
- 4. アドレナリンβ<sub>2</sub>受容体遮断作用によって気管支喘息を悪化させる。
- 5. 炭酸脱水酵素阻害作用によって腎障害を悪化させるおそれがある。

## 解答

問248 : 5問249 : 4

## 解説

### 問248

問249 とまとめて解説します。

### 問249

処方ですが、全て緑内障治療に用いられます。 ラタノプロストはプロスタグランジン F  $2\alpha$  誘導体です。 ドルゾラミドは炭酸脱水酵素阻害薬です。 チモロールは  $\beta$  遮断薬です。

お薬手帳から、「ランソプラゾール、酸化マグネシウム→胃潰瘍」、「アトルバスタチン、ワルファリン→血栓予防」、「ベクロメタゾン吸入→喘息」が推測されます。 喘息に  $\beta$ 遮断は禁忌 です。

以上より、問248 の正解は 5 です。

問249 の正解は 4 です。

類題